

# 地震・津波防災学習から

5日（火）に地震・津波防災学習を実施しました。今回は、御承知のとおり、事前予告なしの方法で行いました。

これまでに、消防署の方からも助言があり、より実際に起きた時を想定した形で、昨年度の反省も生かし、改善の上で実施しました。実施前に、各学級ごとに入念に事前指導を行い、当日を迎えました。2時間目の休み時間に、突然非常ベルが鳴る形で訓練をスタートさせました。事前指導の甲斐もあり、大きな混乱もなく、無事全員が落ち着いて避難行動をとることができました。

東日本大震災の時は、まさしく想定外の高さの津波が押し寄せ、多くの被害を受けました。普段からの訓練が大切であり、万が一の際に、どれだけ冷静に対応できるかが命を守ることに繋がります。あの悲しい災害で得た教訓を学び、生かしていくことが重要です。

今回は休み時間を想定して実施しましたが、災害はいつ何時襲いかかってくるか分かりません。登下校中や児童が留守番をしている時、長期休業中の自宅付近で等、あらゆる場面を想定しておくことが肝要です。

長期休業に入りますが、各家庭でも、どのようにどこに避難するのか、連絡方法をどのように確保するのか等、大切な命を守るために、ぜひ一度、話し合われてみてはいかがでしょうか。よろしくお願いいたします。



## 着衣水泳で、水の事故から自分の命を守ろう。

今年度も、7月第1週目に「着衣水泳」を全学年で実施しました。これは万が一の時、洋服を着たままでは、思うように体が動かない、とても泳ぎにくいということを体感させることをねらいとしています。同時に、学習の後半ではペットボトルにつかまることで、長い時間、水に浮いていらることも体験させます。この時期は、川遊びや海水浴など水とふれあう機会も増えます。このような学習をすることで、自分の命を守る術を少しでも身に付けさせたいと考えています。

今年度はは3年ぶりに、PTA保体部を中心としたプール開放(12日間)を実施する予定です。命を守りながら、水に親しみ、楽しい思い出をつくりましょう。

## 夏季休業に向けて、充実した40日間にしましょう！

1学期も、各御家庭や地域の皆様の見守り、安全に関する御指導のお陰で、何とか大きな事故や怪我、長期入院等もなく終了できることを感謝申し上げます。しかしながら、40日余りの長い期間は、十分に危険を予知しながら過ごすことが大切です。地区PTAやスクールゾーン委員会などで、話題になった危険箇所や不審者事案等も話題にいただき、子どもたちの安全・安心を守りたいものです。保護者・地域の皆様も、感染症や熱中症に御留意いただき、ゆっくりとお過ごしください。